イリーガルビュー

Professional / Standard

kdts

Illegal View

セキュリティから業務支援まで すべてを実現します。

データ流出や情報漏洩の防止･抑止は可能ですか？

内部統制の構築･運用に役立つツールはありますか？

社員･スタッフ、日常業務の管理や支援はできますか？

24 時間 365 日ノンストップで動作する **Illegal View** は、コンピュータ上の作業内容を常に記録し続けます。

それはコンピュータの作業者に監視の目を意識させることとなり、不正行為への抑止力にもつながります。

独自の暗号化技術による画像データは、けっして改ざんや解読されることはありません。

組織のルール化や業務プロセスの整備など、**Illegal View** は業務の適正を確保するためにその実力を発揮するでしょう。

記録される画像データやログデータは、コンピュータの作業者に負担とならないよう高圧縮･転送されます。

Illegal View の画像データを再生すれば、社内研修や新製品紹介の資料などにも最適です。

また、画像とログの両データをシステム障害の切り分けに利用することもその原因究明に効果的でしょう。

Illegal View はすべてを実現します。

Illegal View の負荷のため、コンピュータでは作業しづらくありませんか？

コンピュータの画像は低負荷で高圧縮され、サーバへと転送されます。コンピュータの作業者はその動作に気づくことはないでしょう。

画像データのサイズが大きくて、ハードディスク容量が足りなくなりませんか？

Illegal View が記録した画像データのサイズはとても小さいため、年単位での記録･ハードディスク管理が可能です。独自の高圧縮技術だから実現できるのです。

ターミナルサービスやリモートデスクトップの画面は記録できますか？

ＲＤＰサービスを提供するホスト側に **Illegal View** を導入するだけで、外部コンピュータからのリモート接続画面を記録することができます。

不正サイトへのアクセスや業務に関係のない作業を管理できますか？

業務で利用するアプリケーションやファイル、特定のキーワードを判別処理できるので、業務効率のアップにもつながります。

顧客データの持ち出しや消去を防止できますか？

コンピュータ操作のすべてを自動録画･再生できるので、原因を特定し、不正行為に対する抑止力が高まります。また、ファイルやＵＳＢ機器の利用を制限することもできます。

ファイル共有ソフトなどの不正プログラムから機密情報を守れますか？

業務に利用しないアプリケーションを動作させません。またウイルスに感染したアプリケーションを識別し、動作を阻止することもできます。

コンピュータに詳しい社員がIllegal View を停止してしまいませんか？

たとえ管理者権限を持っていても **Illegal View** を停止することはできません。また **Illegal View** の存在もわからないようになっています。

簡 単 な 操 作　　強 力 な 機 能

画 像 録 画

24時間･365日連続稼動

操作画面を忠実に記録し、記録中でも作業者に負担はかかりません。高圧縮技術によりデータを極限まで最小化（１画面平均５ＫＢ）しているので、ネットワークやサーバへの負荷も最小限に抑えています。また、ビデオレコーダのように直感的に操作できるインタフェースを備えています。さらに、ＲＤＰサービスを提供するコンピュータに **Illegal View** が導入されていれば、リモート接続を行うコンピュータの **Illegal View** の有無にかかわらず、リモート接続の画面を記録することができます。

ア ラ ー ム

豊富なアラーム通知･アクション

アプリケーションが起動された場合やＵＳＢメモリの接続によりドライブ環境が変わった場合、プログラムのインストール／アンインストールが行われた場合、あるいは特定のキーワードが画面に表示された場合など、アラームを発生させメール配信やポップアップ表示などにより管理者へ通知することができます。また緊急事態の対策として、コンピュータの画面をロックさせることも可能です。

ロ グ 収 集

PCの動作やアラーム通知を管理

アプリケーションの起動･終了やハードウェアの変更履歴、インストール情報など、常に最新のコンピュータ資産をサーバに蓄積。いつでも一括で管理することができます。

利 用 制 限

操作に連動し資産の利用を禁止

コンピュータの動作に応じてアプリケーションやファイルの利用を制限することができます。正しいアプリケーションを識別する機能により、ウイルス感染を未然に防ぎます。

ス テ ル ス

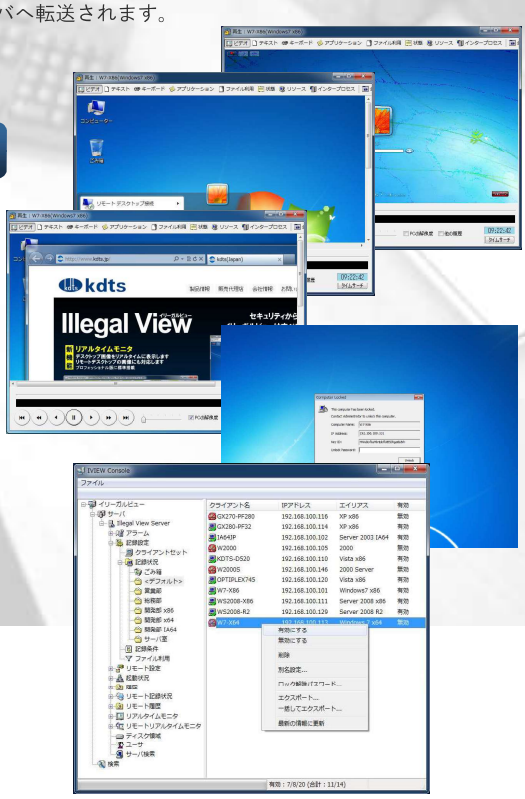
Illegal View の運用を保護

タスクマネージャなどには **Illegal View** に関するプログラムの実行が表示されません。たとえ管理者権限ユーザであっても **Illegal View** を停止することはできません。

オ フ ラ イ ン

LAN未接続時もすべてを記録

モバイルＰＣを社外に持ち出した、コンピュータがネットワークから切断されたなどの場合も、**Illegal View** はすべての機能が有効です。コンピュータ内に保存された記録は、ネットワークに接続されたと同時にサーバへ転送されます。



実 感 で き る さ ま ざ ま な 効 果

スタッフの集中力と効率がアップ

Illegal View は最短１秒間隔でコンピュータ上の作業内容を記録します。常に作業内容を記録されているという心理が作業者の集中力を高め、作業の効率も大幅にアップします。

システム障害を早期復旧

コンピュータの操作をすべて記録しておくので、社内システムなどに障害が発生した際の原因特定が容易になります。また **Illegal View** の機能や詳細な記録データは、障害などへの対策としても大いに役立ちます。

業務管理コストがダウン

管理のゆき届かない時間帯や社外利用時も、**Illegal View** は安心したコンピュータのご利用をお約束します。業務時間外での作業やネットワークからはずしたモバイルＰＣの作業も **Illegal View** はすべて記録するので、管理者の負担の軽減へとつながります。

あらゆるシチュエーションにお応えします

1. サテライトオフィス

管理者が不在のサテライトオフィスにおいても、**Illegal View** は業務内容を克明に記録します。
本社に設置されたサーバに記録データが蓄積され、管理者は作業内容をリアルタイムに確認することができます。

2. 海外拠点・事業所

Illegal View は日本語/英語/タイ語の３ヶ国語に対応しています。
海外拠点で使用するコンピュータの言語に合わせて **Illegal View** をご利用いただけます。
また、ご要望により各国の言語に対応可能です。

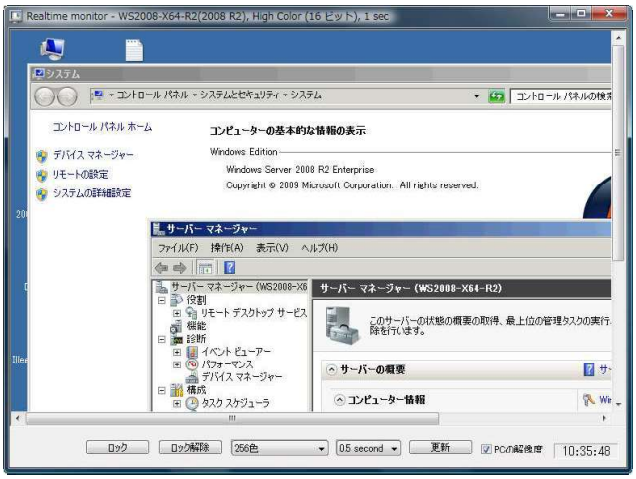
3. 問わない業界･分野

業種や事業形態を問わず **Illegal View** のセキュリティ機能は情報漏洩･不正行為を防ぎます。
Illegal View の記録データが、情報漏洩･不正行為の行われていないことを証明します。

シンプルに確実に　すべてを実現します

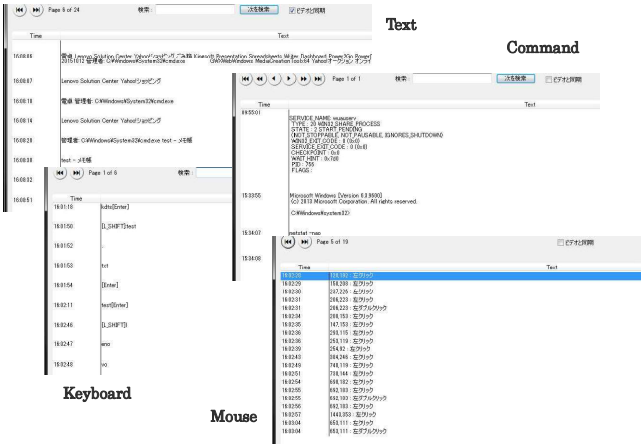
「今･誰が･何を」-リアルタイムモニター-

「いつ･誰が･何を」したかを克明に記録する **Illegal View** は、「今･誰が･何を」しているかを最短 0.5 秒(理論値)間隔で確認することができます。色数や表示サイズの変更、リモートデスクトップ画面の表示にも対応します。



テキスト/キーボード/コマンド/マウスの記録に対応

Illegal View が記録する様々な履歴は画面やアプリケーション、ファイル類だけではありません。デスクトップ上に表示されたテキストやキーボードの入力、コマンドプロンプトの実行やマウスクリックの履歴も記録します。また、リモートデスクトップの履歴も同様に記録します。



リモートデスクトップの画面を記録

Windows®のターミナルサービスや RD Web アクセス、さらに Citrix XenApp™の記録にも対応します。**Illegal View** を接続対象のコンピュータに導入しておくことで、外部コンピュータ上のデスクトップに表示された RDP 接続画面を確実に記録します。

カメラで撮影･記録、リアルタイムカメラで周辺を確認

Web カメラが接続されていれば、**Illegal View** は撮影した画像を記録します。また、リアルタイムモニタ上ではその時のカメラ撮影映像を順次表示しますので、コンピュータの利用者や周辺の状況を確認することができます。また RemoteFX USB デバイスの設定により RDP 接続元のカメラによる撮影・記録も可能です。

	Illegal View Server サーバプログラム[2]	Illegal View Client クライアントプログラム
- OS[1]	Windows Server 2019, Windows Server 2016 Windows Server 2012R2, Windows Server 2008R2, Windows 10[3], Windows 8.1[3], Windows 7[3]	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7[2], Windows Server 2019, Windows Server 2016 Windows Server 2012R2, Windows Server 2008R2[2][3]
- CPU[+]	マルチコア以上を推奨	マルチコア以上を推奨
- RAM[+]	4GByte 以上を推奨 RDP セッションを記録する場合は(2×仮想クライアントライセンス)MB	1GByte 以上を推奨 RDP セッションを記録する場合は(400×セッション数)KB
- HDD[+]	サーバプログラムの格納に約 20MByte 保存が見込まれる履歴データ量[4][5][6][7][8] データベースの格納に 500MByte/個[9]	クライアントプログラムの格納に約 20MByte オフライン記録を利用時の、オフラインモードの設定値[4][5][6]

[1]各 OS の日本語版/英語版、32bit 版/64bit 版に対応しています。[2]64bit 版の導入には Microsoft Access 2013 Runtime または Microsoft Access 2016 Runtime の導入が必要です。[3]サーバ用途 OS ではないため、本製品導入後のネットワーク障害は免責といたします。[4]サーバ PC のディスク容量がなくなった場合、クライアントからの転送データは記録しません。[5]1 クライアントあたり 1 日の最大記録サイズは 4GByte を上限とし、以降のクライアントからの転送データは記録しません。[6]画面サイズ 1,024x768 を 8 時間・16 色・5 秒間隔で記録した場合、少なくとも約 30MByte が記録容量の目安となります。[7]ひとつのサーバには最大 5,000 クライアントを登録することができます。[8]動作状況により操作画像や履歴を取得することが困難な場合があるため、全取得を保証するものではありません。[9]データベースファイルは 500MByte 毎に複数個作成されます。

[1]各 OS の日本語版/英語版、32bit 版/64bit 版に対応しています。[2]Windows 7 および Windows Server 2008R2 への本製品導入前にマイクロソフト Windows Update セキュリティ更新プログラム(KB3033929 および KB3033929 導入に際し必要なその他の更新プログラム)が導入済みであることが必要です。[3]一部機能の利用に制限があります(64bit 版 Windows Server 2008、Windows Vista は SHA1 に未対応のため)。[4]オフライン記録中にクライアント PC のディスク容量がなくなった場合、クライアントプログラムは記録を停止します。[5]動作状況により操作画像や履歴を取得することが困難な場合があるため、全取得を保証するものではありません。[6]OS のシステムドライブに記録しますので、空き容量にご注意ください。

[+]推奨環境の補足

1) ハードウェア環境について
■物理／仮想環境が、弊社製品の稼動に必要なスペックであること。■物理／仮想環境にて、弊社製品が対応する OS が正常に動作すること。■弊社製品が対応する OS が、物理／仮想環境により OS の情報等を書き換えられていないこと。

2) サポート範囲について
■物理／仮想環境について、そのすべてに対して弊社製品を動作確認することは困難です。そのため、物理／仮想環境固有に発生した事象については免責といたします。■物理／仮想環境固有に発生した事象についての対応は試みますが、問題の特定・解決・回避、製品の改修などを実現することが不可能な場合もありますことをご了承ください。■物理／仮想環境固有の事象について、弊社にて必要と判断した場合には公表いたします。

お問合せ

販売代理店

株式会社セントラル情報センター

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂 2-16-4 野村不動産道玄坂ビル
■電話でのお問合せ：03-3496-1674
■インターネットでのお問合せ：https://www.cic-kk.co.jp/inquiry

イリーガルビュー - Real Time and Remote Technology -

		Illegal View Professional	Illegal View Standard
■ 記録機能			
コンピュータ単位による設定およびグループ単位による管理が可能		■	■
画像記録	コンピュータの起動中より画面を記録	■	■
マルチモニタ記録	複数のモニタを使用している環境の画面を記録	■	■
リモートデスクトップ記録	リモートデスクトップ、ターミナルサービスのセッション画面を記録	■	■
オフライン記録	ネットワーク未接続時に記録機能が動作	■	■
記録間隔	1 秒～9999 秒に記録間隔を変更可	■	■
画面の色	モノクロ、16 色、256 色、High Color(16bit)、True Color(24bit)、コンピュータ側の設定色	■	■
スクリーンセーバ	スクリーンセーバ起動中の画面記録を無効可	■	■
画像再生	再生、逆再生、再生速度(6 段階)、再生サイズ・コンピュータ側解像度で再生	■	■
テキスト	デスクトップに表示された文字列を記録	■	■
コマンド	コマンドプロンプト上でのコマンド実行を記録	■	■
キーボード	デスクトップ上でのキーストロークを記録	■	■
マウス	デスクトップ上でのマウスクリックを記録	■	■
アプリケーション	アプリケーションの起動、終了を記録、専用コードで動作アプリケーションを識別	■	■
ファイル利用	ユーザ、アプリケーション、OS などがアクセスしたファイル名を記録	■	■
状態	ユーザのログイン、ログオフ、シャットダウンなどコンピュータの状態を記録	■	■
リソース	ハードウェア、ドライブ、プリンタ、アプリケーションなどコンピュータ情報を記録	■	■
カメラ	コンピュータのビルトインカメラまたは Web カメラで撮影した画像を記録	■	■
■ リアルタイム表示機能			
コンピュータ単位およびユーザ単位による表示が可能		■	-
リアルタイムモニタ	コンピュータの現在の記録画面を順次表示(0.5 秒～5 秒の範囲内で記録間隔を変更可)	■	-
リアルタイムカメラ	コンピュータのビルトインカメラまたは Web カメラで現在の映像を順次表示	■	-
リモートリアルタイムモニタ	リモートデスクトップの現在の記録画面を順次表示	■	-
■ 検索機能			
コンピュータ単位およびユーザ単位による検索が可能		■	■
サーバ検索	イリーガルビューサーバが管理している履歴・アラーム情報の検索	■	■
■ アラーム機能			
コンピュータ単位およびユーザ単位による設定が可能		■	■
システム	イリーガルビューサーバ・クライアントの運用に関わる動作を検知	■	■
アプリケーション	アプリケーションの起動の検知、起動の禁止、アプリケーション実体を識別	■	-
ファイルアクセス	ファイルへのアクセスを検知、ファイルへのアクセスの禁止	■	-
リソース	コンピュータ・リソースの変更を検知	■	-
キーワード	デスクトップ画面上でのテキスト描画を検知	■	-
リムーバブルドライブ	リムーバブルドライブの接続を検知、ファイルへのアクセスを禁止	■	-
ログイン	コンピュータへのログインとログインユーザを検知	■	-
タイム	指定した時間に各種制限や通知を実行	■	-
管理者通知	管理コンソール上にアラーム内容を通知、E メールにアラーム内容を送信	■	■
ログ記録	アラーム内容を記録	■	■
動作変更	指定した記録条件へ変更、コンピュータの画面をロック	■	-
ユーザ通知	対象のコンピュータにメッセージダイアログを表示	■	-
■ クライアント保護機能			
イリーガルビューシステムの無効化対策		■	■
ステルス	クライアントプログラムはタスクマネージャ・エクスプローラへは非表示および停止不可	■	■
起動状況	クライアントプログラム動作中のアンインストールは不可	■	■
オブザーバ	クライアントプログラム起動不可時にコンピュータの起動を制限	■	■
起動モード制限	セーフモードでの Windows 起動後にコンピュータの起動を制限	■	■
ファイアウォール対策	イリーガルビューサーバへ接続不可時はネットワーク資産の利用を禁止	■	■
■ オプション機能			
様々な拡張機能を設定		■	■
ビデオエクスポート	記録した画像を AVI 形式にエクスポート	■	■
マルチアラーム	既存のアラーム条件を連続的に満たすことによりアラームを発生	■	-
コマンドライン	コマンド実行でコンピュータの画面をロック	■	■
レポート	オリジナル帳票を印刷	■	■
■ ライセンス種類			
暗号化方式の選択が可能		■	-
暗号化方式	独自の暗号化方式または PCI-DSS 準拠の暗号化方式を選択可能	■	-

イリーガルビュー <Professional/Standard> サーバ(*2)

対応 OS(*1)	Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012R2, Windows Server 2008R2, Windows 10(*3), Windows 8.1(*3), Windows 7(*3)
推奨環境(+)	< CPU： マルチコア以上 > < RAM：2GByte 以上(RDP セッションを記録する場合は別途[2×仮想クライアントライセンス]MB を利用) > < HDD： サーバプログラムの格納に 20MByte、保存が見込まれる履歴データ量(*4)(*5)(*6)(*7)(*8)、データベースの格納に 500MByte/個(*9)>

(*1)各 OS の日本語版/英語版、32bit 版/64bit 版に対応しています。(*2)サーバ導入前に Microsoft Access 2016 Runtime の 64 ビット版または 32 ビット版の導入が必要です。(*3)サーバ用途 OS ではないため、本製品導入後のネットワーク障害は免責といたします。(*4)サーバ PC のディスク容量がなくなった場合、クライアントからの転送データは記録しません。(*5)1 クライアントあたり 1 日の最大記録サイズは 4GByte を上限とし、以降のクライアントからの転送データは記録しません。(*6)画面サイズ 1,024x768 を 8 時間・16 色・5 秒間隔で記録した場合、少なくとも約 30MByte が記録容量の目安となります。(*7)ひとつのサーバには最大 5,000 クライアントを登録することができます。(*8)動作状況により操作画像や履歴を取得することが困難な場合があるため、全取得を保証するものではありません。(*9)データベースファイルは 500MByte 毎に複数個作成されます。

イリーガルビュー <Professional/Standard> クライアント

対応 OS(*1)	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7(*2), Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012R2, Windows Server 2008R2(*2)
推奨環境(+)	< CPU： マルチコア以上> < RAM：1GByte 以上(RDP セッションを記録する場合は別途[400×セッション数]KB を利用) > < HDD： クライアントプログラムの格納に 20MByte、オフラインモードの設定値(*4)(*5)(*6) >

(*1)各 OS の日本語版/英語版、32bit 版/64bit 版に対応しています。(*2)Windows 7 および Windows Server 2008 への本製品導入前にマイクロソフト Windows Update セキュリティ更新プログラム（KB3033929 および KB3033929 導入に際し必要なその他の更新プログラム)が導入済みであることが必要です。(*3)一部機能の利用に制限があります(64bit 版 Windows Server 2008、Windows Vista は SHA1 に未対応のため)。(*4)オフライン記録中にクライアント PC のディスク容量がなくなった場合、クライアントプログラムは記録を停止します。(*5)動作状況により操作画像や履歴を取得することが困難な場合があるため、全取得を保証するものではありません。(*6)OS のシステムドライブに記録しますので、空き容量にご注意ください。

(+)推奨環境の補足

1) ハードウェア環境について
■物理／仮想環境が、弊社製品の稼動に必要なスペックであること。■物理／仮想環境にて、弊社製品が対応する OS が正常に動作すること。■弊社製品が対応する OS が、物理／仮想環境により OS の情報等を書き換えられていないこと。

2) サポート範囲について
■物理／仮想環境について、そのすべてに対して弊社製品を動作確認することは困難です。そのため、物理／仮想環境固有に発生した事象については免責といたします。■物理／仮想環境固有に発生した事象についての対応は試みますが、問題の特定・解決・回避、製品の改修などを実現することが不可能な場合もありますことをご了承ください。■物理／仮想環境固有の事象について、弊社にて必要と判断した場合には公表いたします。

kdts 株式会社ケイディティエス

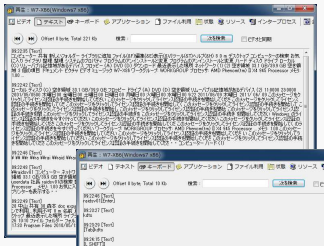
操作画面の記録

1秒間隔～、モノクロ～フルカラーで記録されます

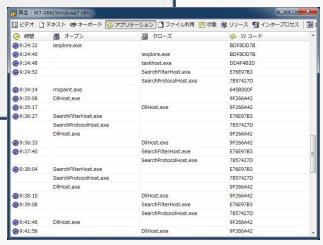
再生ウィンドウのサイズに合わせて拡大・縮小表示されます

PCの実解像度で表示できます

テキストの履歴

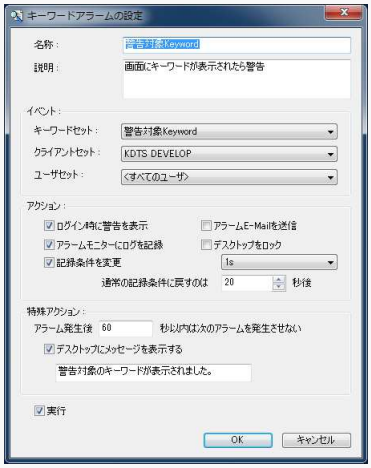


キーボードの履歴



アプリケーション利用の履歴

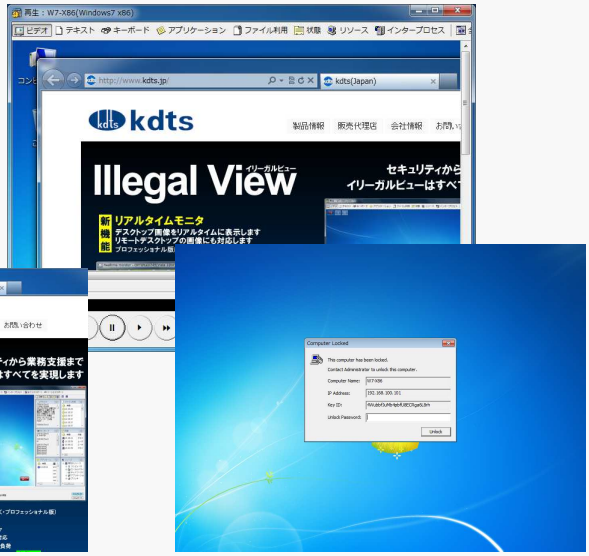
様々なアラーム



アラーム対象の操作があった場合のアクションを設定します

コンソールに警告が表示されます

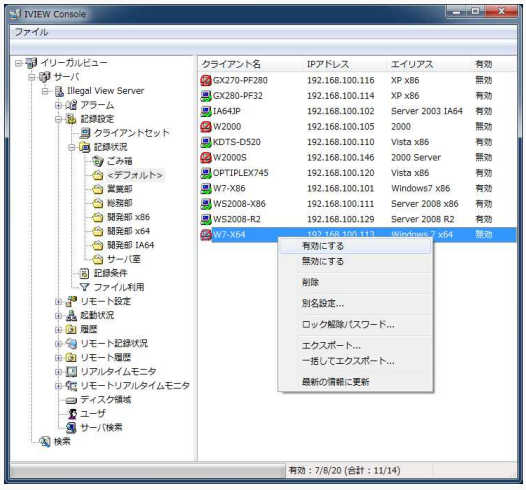
アラーム対象のデスクトップにメッセージが表示されます。



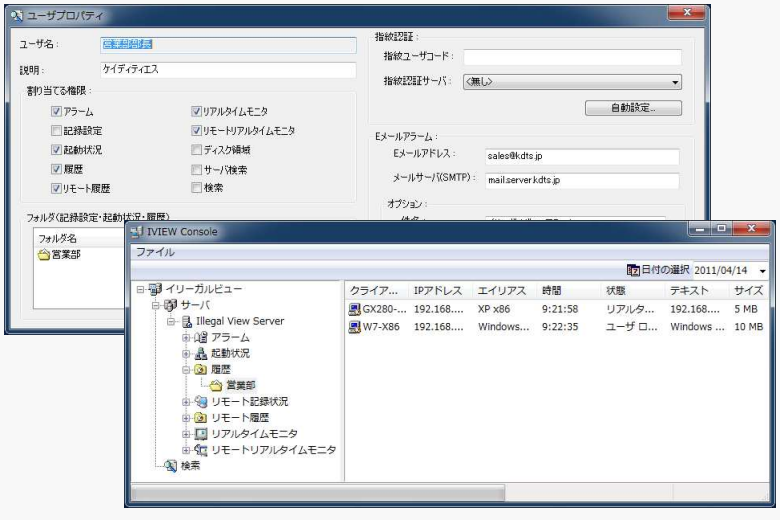
アクションを指定した場合はデスクトップがロックされます

コンピュータの管理

管理ツール[イリーガルビュー・コンソール]



コンソールログインユーザを作成し、権限と履歴フォルダを設定



コンソールログインユーザでログインすると、設定した権限と履歴フォルダが表示されます